

東部教育事務所社教便り『社窓No.44』



「第 68 回高知県市町村対抗駅伝競走

安芸都市連合婦人会管内交流研修会」

東部教育事務所（担当：田村）

安芸市矢ノ丸1-4-36

T E L : 0887-34-3591

F A X : 0887-34-3592

E-mail : 310304@ken.pref.kochi.lg.jp

第 68 回県市町村対抗駅伝競走

(安芸都市体育会)



令和2年1月26日(日)に、第68回高知県市町村対抗駅伝競走が行われました。レースは室戸市室戸岬町の「シレストむろと」前から、安芸市江湖川橋北詰までの計8区間46.5kmを25市町村39チームが競いました。

レース前半は1区でトップに立った四万十市Aを南国市A、高知市A、香南市Aが追う展開となりました。2区は、四万十市Aが区間新の走りでリードを広げ、南国市A、香南市A、高知市Aと続けました。3区の中学生区間では高知市Aが区間賞の走りで3位に浮上。前半最終の4区も四万十市Aがト

ップを維持し、2位の南国市Aに55秒差をつけゴールしました。以下、高知市A、香南市A、高知市B、香南市Bと続けました。

レース後半、一斉再スタートの5区は序盤から宿毛市Aと南国市Aが競い合いましたが、終盤で宿毛市Aが抜け出し、4秒差をつけて首位。2位には南国市A、さらに12秒差で四万十市Aが続きました。以下高知市A、香南市A。中学生区間の6区は四万十市Aが区間賞で1位に浮上。宿毛市Aが2位。香南市Aが3位に上がり、南国市A、高知市Aが続きました。7区は区間新を出した香南市Aが首位に浮上。南国市Aと四万十市Aは同着の2位。4位は高知市A。最終8区はそのまま香南市Aが1位でゴール。南国市Aは区間賞の快走で2位。高知市Aが3位、四万十市Aが4位。以下黒潮町A、南国市B、四万十町Aと続けました。



前半タイムと合計した総合タイムでは、前半2位の南国市Aが後半1位で55秒差を逆転し、総合1位となり、2年連続17度目の優勝に輝きました。総合2位には首位と9秒差で四万十市A。総合3位には後半区間で1位となった香南市A。4位には前後半とも3位だった高知市Aが入り、5位南国市B、6位香南市Bと続けました。

【本年度の結果】

優勝：南国市A (2時間25分56秒)

準優勝：四万十市A (2時間26分05秒)

第3位：香南市A (2時間26分14秒)



【市町村の結果（抜粋）】

9位 安芸市A	11位 香美市A	12位 香南市C	19位 室戸市A
20位 芸西村	25位 安芸市B	26位 奈半利町	30位 香美市B
33位 田野町	34位 室戸市B	37位 安田町	



おかげさまで全体を通して大きなケガや事故も無く、無事大会を終えることができました。

ボランティアスタッフとして協力してくださった小中高等学校の教員や各地域の体育会員とスポーツ推進委員、交通安全指導員の皆さんありがとうございました。これからも伝統ある駅伝大会を続けていくためにご協力をよろしくお願いします。

安芸郡市連合婦人会管内交流研修会

令和2年2月7日（金）に安芸郡市連合婦人会管内交流研修会が奈半利町町民会館で開催され、80名近い管内婦人会員の参加がありました。

午前中の研修では、竹崎奈半利町長、大崎高知県連合婦人会長の祝辞の後、「奈半利町 ほっとカフェ さかい屋の取組」について奈半利町役場住民福祉課課長補佐の坂本久美様による講演が行われました。奈半利町では、月に1回集落活動センター「なはりの郷」でカフェを開催する取組をしており、認知症の理解を深める



ために、専門家による「脳の構造と失語症」や「認知症予防」、「特殊サギ攻略法」などのミニ講座を開いています。認知症になっても、住み慣れた町で過ごせる地域づくりを目指した取組について、丁寧にわかりやすくお話していただきました。

午後からは日本お笑い学校講師であり、土佐の寅さ



んこと はざまむくち 間六口様に「笑いは健康の常備薬」と題して講演していただきました。七尺の大太刀を持ち“寅さん”に扮して登場すると、最初から流暢な語り口でエンジン全開。婦人会の皆さんはすぐに間さんの笑いの渦に引き込まれていました。講演では笑いの大切さ、高齢社会における笑いの効用を毒舌やホロリと心に残る実話を交えながらお話いただき、笑顔と生きる元気をいただきました。最後のバナナのたたき売りでは、大きな房を持ち、おもしろおかしく競りにかけ、会員の皆さんも喜んでいました。

参加者からは「久しぶりに心から笑えた。」「本当に良かった。終わった後、元気になったと思える講演は初めて。」というような声が多く聞かれました。

